



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
コード番号 2180 URL https://ssug.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無: 無

百万円未満切捨て

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	13,927	1.9	1,324	△12.0	1,353	△11.9	863	△9.9
2024年6月期第3四半期	13,663	△2.5	1,505	34.3	1,535	32.5	959	42.4

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 876百万円 (△0.2%) 2024年6月期第3四半期 877百万円 (7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年6月期第3四半期	円 銭 57.89	円 銭 -
2024年6月期第3四半期	64.29	64.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年6月期第3四半期	百万円 9,265	百万円 4,676	% 48.7
2024年6月期	8,472	4,136	46.9

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 4,515百万円 2024年6月期 3,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年6月期	円 銭 -	円 銭 5.00	円 銭 -	円 銭 15.00	円 銭 20.00
2025年6月期	-	7.00	-		
2025年6月期（予想）				15.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	3.3	1,650	12.6	1,660	10.6	960	20.7	64.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期3Q	15,197,600株	2024年6月期	15,197,600株
2025年6月期3Q	277,456株	2024年6月期	277,456株
2025年6月期3Q	14,920,144株	2024年6月期3Q	14,916,882株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当資料は2025年5月13日(火)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年7月1日～2025年3月31日）における当社グループは、PR（パブリックリレーションズ）発想を軸に、コミュニケーション戦略の策定から施策立案・支援まで、幅広いサービスを提供してまいりました。

中長期的な企業価値向上を目指す当社グループは、中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」に沿って、事業ポートフォリオの中核として位置づけるブランドコミュニケーション事業を中心に、クライアントの維持・開拓を図りながら、グループ企業間で連携し、多様かつ付加価値の高いサービスの提供に取り組んでまいりました。さらに、従来のPRからマーケティングへ領域を広げて包括的なソリューションを提供し、事業機会の拡大を図るため、ビジネスディベロップメント事業に属する㈱TKG Consulting（2024年10月1日付で㈱サニーサイドエックスより商号変更）の主力事業を変更し、マーケティング戦略支援及びコンサルティング事業を開始しました。

当社グループでは、2024年6月期からの3か年を対象に、成長への戦略投資枠として総額15億円を設定し、事業成長を支える人財への投資として、新卒採用の継続と専門人財の採用強化を図りました。教育プログラムも拡充し、専門教育プログラム「SUNNY UNIVERSITY」には、前年同期実績の1.2倍にあたる延べ1,324名が参加しました。また、前連結会計年度の本社オフィス改装に続いて職場環境整備を進め、2020年3月の連結子会社化以降、業績が好調に推移してきた㈱ステディスタディの成長を加速させるため、2024年12月に同社オフィスを拡張移転しました。

売上高につきましては、ブランドコミュニケーション事業でIP（知的財産）コンテンツを活用した販促施策や商品企画の受注が拡大し、増収となりました。PRは、海外クライアントからの受注減少の影響が残ったものの、コストの大型案件、大阪・関西万博開幕を控えて開業が続いたホテルのPRや東京都心の再開発に係るPRを受注するなど、堅調に推移しました。また、当社グループが注力する地方創生につきましては、九州地方で受注案件に広がりが見られたほか、幅広い自治体から食や観光資源の魅力を伝えるPRを受注しました。

営業利益につきましては、連結子会社のオフィス移転費用のほか、賞与関連費用として前年同期より1億35百万円増加となる2億46百万円を計上した結果、減益となりました。なお、賞与関連費用はこれまで予測可能性を低下させる要因の一つとなっていたため、2025年6月期より四半期ごとの賞与関連費用を会社計画段階で準準化し、業績進捗を勘案して計上しております。

営業利益以下の段階利益も減益となりましたが、上記費用が通期業績予想に織り込まれていることから、利益は会社想定通りに進捗しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	139億27百万円	（前年同期比 1.9%増）
営業利益	13億24百万円	（前年同期比 12.0%減）
経常利益	13億53百万円	（前年同期比 11.9%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	8億63百万円	（前年同期比 9.9%減）

当社グループの報告セグメントの構成及び業績は次の通りです。

報告セグメントの構成

報告セグメント	構成子会社
①ブランドコミュニケーション事業	㈱サニーサイドアップ
	㈱クムナムエンターテインメント
	㈱エアサイド
	㈱ステディスタディ
②フードブランディング事業	㈱フライパン
	SUNNY SIDE UP KOREA, INC
③ビジネスディベロップメント事業	㈱グッドアンドカンパニー
	㈱TKG Consulting (※)

(注) ※2024年10月1日付で、㈱サニーサイドエックスより商号変更しております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失

		2024年6月期 第3四半期累計	2025年6月期 第3四半期累計
①ブランドコミュニケーション事業	売上高	111億13百万円	114億36百万円
	利益	22億23百万円	20億49百万円
②フードブランディング事業	売上高	24億16百万円	24億50百万円
	利益	78百万円	72百万円
③ビジネスディベロップメント事業	売上高	1億33百万円	40百万円
	利益(△損失)	△2百万円	20百万円

(注) 当第3四半期連結累計期間の賞与関連費用は、ブランドコミュニケーション事業で2億46百万円(前年同期実績1億11百万円)となります。

①ブランドコミュニケーション事業

当事業では、クライアントである企業・団体等の活動や商品・サービスの価値を広く伝え、様々なステークホルダーと良好な関係性を構築するための戦略策定、施策立案・支援を担っております。施策は、プレスリリースの作成・配信、記者発表会、メディアリレーション、PRイベント、SNS戦略立案など、多岐に渡っております。また、販売施策・商品企画の立案・支援を手掛け、店頭等の消費者との接触ポイントで購買・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。前連結会計年度に従来のマーケティング&コミュニケーション事業とセールスアクティベーション事業を統合し、一体的にサービスを提供する体制を構築しております。

㈱サニーサイドアップでは、クライアントニーズにきめ細かく対応した企画力とメディアリレーションを強みとし、特定の業種に限定することなく、国内外のクライアントの商品・サービス、施設等のPRを担当するほか、インフルエンサーとYouTubeやInstagram等のSNSを組み合わせたマーケティングサービスを提供しております。同社のコンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIPを活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛け、商品企画部門では、商品キャンペーンの企画及びグッズ制作、雑貨の商品企画やOEMの機能・ノウハウを有しております。

㈱クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティストや有名プロスポーツ選手等を起用したブランディング、コンテンツ開発を手掛けております。㈱エアサイドでは、高いクリエイティビティとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。㈱ステディスタディでは、ファッションやライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活用し、PRやコンサルティングを提供しています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、マーケティングイベントを活用して大手企業のマーケティング責任者と接点を持ち、包括的な提案を行ったほか、PRと商品企画部門、またグループ企業共同で提案する機会を増やすなど、提案力の強化を図りました。主力の㈱サニーサイドアップでは、アップセルに繋がる提案を進め、クライアント当たりの売上高が増加に転じました。

当事業では、IPコンテンツを活用した販促施策・商品企画の受注が拡大し、特に人気キャラクターの誕生記念や映画連動の企画が増収に寄与しました。PRにつきましては、海外クライアントからの受注が減少したものの、コスメ・ファッション、商業施設・ホテル、地方創生・旅行等の案件受注が拡大しました。なお、当第3四半期連結累計期間の業績における大阪・関西万博の直接的な影響は軽微でありましたが、観光需要を見込んだPRの受注など、波及効果が見られました。

利益につきましては、㈱ステディスタディのオフィス移転費用及び賞与関連費用の増加が影響し、減益となりました。なお、賞与関連費用は、会社計画段階で四半期ごとに平準化し、業績進捗を基に2億46百万円(前年同期実績1億11百万円)を計上しております。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	114億36百万円	(前年同期比	2.9%増)
セグメント利益	20億49百万円	(前年同期比	7.8%減)

②フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンスビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。国内で直営7店舗、韓国

で直営2店舗を展開する当事業では、当第3四半期連結累計期間に出退店及び改装はなく、休業期間は発生しておりません。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ヴィーガンやグルテンフリーなど、幅広い客層を対象とした秋冬メニューを展開したほか、クリスマス期間限定でオーストラリア産ワインとのペアリングディナーコースを提供しました。また、2025年4月からの春夏メニュー「地中海式コンフォート・フード」の展開に向けて、準備を進めました。

当事業では、客単価が高水準で推移するなか、インバウンド需要に支えられた銀座店及び大阪店、前連結会計年度に改装した七里ヶ浜店（神奈川県鎌倉市）及び表参道店で客数が増加し、増収となりました。利益につきましては、増収に伴い、前年同期並みの売上総利益を確保できたものの、集客及びブランド価値維持を目的としたメンテナンス費用が影響し、減益となりました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	24億50百万円	(前年同期比	1.4%増)
セグメント利益	72百万円	(前年同期比	8.5%減)

③ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

㈱グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しています。㈱TKG Consultingでは、商業施設及び建物の企画、開発、管理運営等のほか、XR映像を活用したソリューション提供を行ってきましたが、主力事業をマーケティング戦略支援及びコンサルティング事業へ転換しました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、コンサルティング案件を受注し始めたものの、㈱TKG Consultingの既存事業の縮小により、減収となりました。利益につきましては、前年同期に計上したXR事業の先行費用の影響がなくなり、事業全体で増益となりました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	40百万円	(前年同期比	69.6%減)
セグメント利益	20百万円	(前年同期実績	△2百万円)

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて7億93百万円増加し、92億65百万円となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が8億10百万円の増加により73億60百万円に、固定資産が17百万円の減少により19億5百万円となりました。なお、流動資産の増加は主に、現金及び預金が5億12百万円、売掛金が1億4百万円及び未成業務支出金が1億84百万円それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて2億52百万円増加し、45億89百万円となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が3億57百万円の増加により37億19百万円に、固定負債が1億4百万円の減少により8億69百万円となりました。なお、流動負債の増加は主に、買掛金が9億34百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて5億40百万円増加し、46億76百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は48.7%となり、前連結会計年度末の46.9%より上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年8月13日に公表しました予想値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,185,218	3,697,827
受取手形	97,237	79,470
売掛金	2,494,086	2,598,473
商品及び製品	1,688	46,217
未成業務支出金	306,880	491,145
原材料及び貯蔵品	24,523	25,423
その他	447,779	429,929
貸倒引当金	△7,786	△8,110
流動資産合計	6,549,627	7,360,376
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	475,872	532,306
有形固定資産合計	475,872	532,306
無形固定資産		
のれん	234,702	203,639
その他	16,371	12,026
無形固定資産合計	251,074	215,666
投資その他の資産		
その他	1,249,078	1,217,083
貸倒引当金	△52,743	△59,485
投資その他の資産合計	1,196,334	1,157,598
固定資産合計	1,923,281	1,905,570
資産合計	8,472,908	9,265,947
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,515,564	2,450,170
短期借入金	236,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	157,381	133,881
未払法人税等	382,421	228,445
賞与引当金	307,495	246,864
役員賞与引当金	139,900	-
契約負債	163,451	57,445
その他	460,219	402,839
流動負債合計	3,362,433	3,719,646
固定負債		
長期借入金	563,416	463,005
資産除去債務	153,295	159,819
その他	257,326	246,569
固定負債合計	974,038	869,394
負債合計	4,336,472	4,589,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,551	550,551
資本剰余金	698,914	698,914
利益剰余金	2,744,514	3,280,024
自己株式	△130,456	△130,456
株主資本合計	3,863,524	4,399,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,122	129,413
繰延ヘッジ損益	17	△378
為替換算調整勘定	△31,900	△12,836
その他の包括利益累計額合計	108,238	116,198
新株予約権	127,357	120,061
非支配株主持分	37,316	41,611
純資産合計	4,136,436	4,676,905
負債純資産合計	8,472,908	9,265,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	13,663,973	13,927,392
売上原価	10,359,213	10,564,455
売上総利益	3,304,759	3,362,937
販売費及び一般管理費	1,799,646	2,038,206
営業利益	1,505,113	1,324,731
営業外収益		
受取利息	133	2,339
持分法による投資利益	1,452	-
為替差益	28,965	12,728
業務受託手数料	14,999	13,538
助成金収入	-	20,100
その他	9,971	6,105
営業外収益合計	55,523	54,812
営業外費用		
支払利息	3,986	5,939
匿名組合損益分配額	2,919	3,711
持分法による投資損失	-	6,868
貸倒引当金繰入額	7,600	-
過年度関税等	9,535	-
損害賠償金	-	6,164
その他	1,505	3,853
営業外費用合計	25,548	26,537
経常利益	1,535,088	1,353,006
特別利益		
固定資産売却益	35	684
子会社株式売却益	37,880	-
投資有価証券売却益	45,828	1,640
新株予約権戻入益	9,957	7,296
特別利益合計	93,700	9,621
特別損失		
固定資産除却損	2,915	1
出資金評価損	101,171	5,019
投資有価証券評価損	55,349	11,923
特別損失合計	159,437	16,944
税金等調整前四半期純利益	1,469,352	1,345,682
法人税等	506,028	477,633
四半期純利益	963,323	868,049
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,275	4,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	959,048	863,753

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	963,323	868,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,390	△10,708
繰延ヘッジ損益	123	△395
為替換算調整勘定	△3,694	19,063
その他の包括利益合計	△85,961	7,959
四半期包括利益	877,362	876,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	873,086	871,712
非支配株主に係る四半期包括利益	4,275	4,295

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,113,698	2,416,416	133,858	13,663,973	-	13,663,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,477	2,779	1,880	36,137	△36,137	-
計	11,145,175	2,419,196	135,738	13,700,110	△36,137	13,663,973
セグメント利益又は損失	2,223,295	78,973	△2,123	2,300,145	△795,032	1,505,113

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△18,265
全社費用(※)	△776,766
合計	△795,032

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年7月1日 至2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,436,345	2,450,374	40,672	13,927,392	-	13,927,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,044	8,377	40,191	70,614	△70,614	-
計	11,458,390	2,458,752	80,864	13,998,006	△70,614	13,927,392
セグメント利益	2,049,656	72,270	20,435	2,142,362	△817,631	1,324,731

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,192
全社費用(※)	△818,824
合計	△817,631

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	73,202千円	91,273千円
のれん償却額	31,063	31,063

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	10,443,779	1,988,513	133,858	12,566,151
アジア	116,540	427,903	—	544,444
米国	442,610	—	—	442,610
欧州	110,766	—	—	110,766
顧客との契約から生じる収益	11,113,698	2,416,416	133,858	13,663,973
外部顧客への売上高	11,113,698	2,416,416	133,858	13,663,973

当第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	11,081,408	2,046,538	40,672	13,168,618
アジア	69,037	403,836	—	472,873
米国	160,039	—	—	160,039
欧州	125,860	—	—	125,860
顧客との契約から生じる収益	11,436,345	2,450,374	40,672	13,927,392
外部顧客への売上高	11,436,345	2,450,374	40,672	13,927,392